

きぬがわし
鬼怒川橋

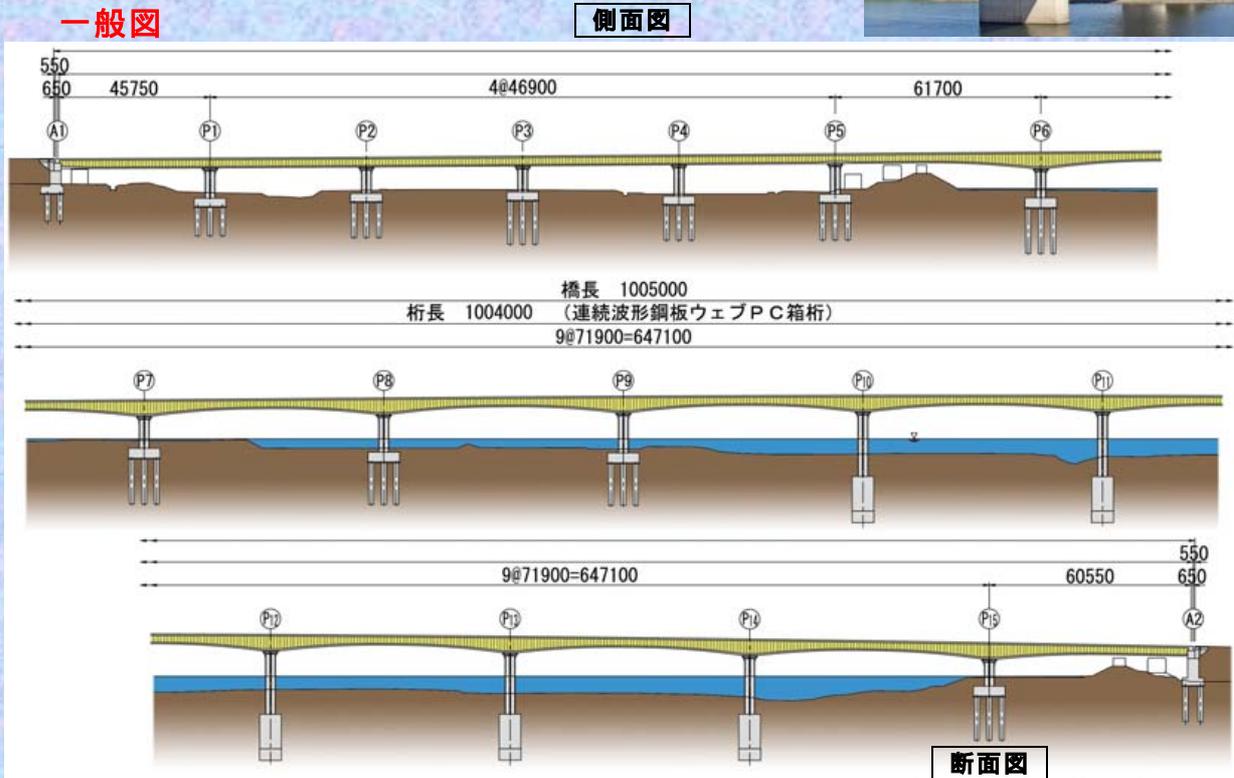


鬼怒川橋は、上三川 IC～真岡 IC 間において一級河川鬼怒川を横断する、北関東自動車道最大の橋梁です。

上部構造には全外ケーブルを使用した波形鋼板ウェブ箱桁橋を採用し、軽量化、施工の合理化による経済性の向上を図っています。また、免震構造の採用により安全性と車両の走行性を向上させ、景観的にも配慮した 16 径間連続桁構造となっています。

施工にはプレキャストリブと PC 板を用いた上床版構造と、これを最大限に生かした画期的な架設工法 (Rap Con/RW 工法) を採用し、施工の合理化、工期短縮を実現しています。

橋梁規模としては、我が国最大の波形鋼板ウェブ橋です。



橋梁諸元

工事名：北関東自動車道 鬼怒川橋 (PC 上部工) 工事

発注者：東日本高速道路㈱

位置：栃木県河内郡上三川町大字東夢沼

道路規格：第 1 種第 2 級

形式：PC 1 6 径間連続波形鋼板ウェブ箱桁橋

荷重：B 活荷重

橋長：1005m (45.75+4@46.90+61.70+9@71.90+60.55)

総幅員：10.7m (有効幅員 9.655m・上下線)

架設工法：張出し架設工法・固定式支保工架設工法

PC 鋼材：主鋼材 SWPR7B 19S15.2 (アンダーソン工法：外ケーブル)

床版横締め鋼材 SWPR19 1S21.8 (アンダーソン工法：プレグラウト鋼材)

